

府中グリーンプラザ「処分」の問題を問う市民集会

——市民の自主活動の場を守ろう！——



お話しする人 **池上 洋通** (いけがみ ひろみち) さん

(多摩住民自治研究所・日本社会教育学会会員)

◎プロフィール

1941年静岡県清水市生まれ。地方自治研究者。地方自治と地域社会に関する各種分野で積極的に発言、創作活動を行っており、雑誌編集などのジャーナリストとしても活動。1974年～1992年、革新市政・日野市役所に勤務。いわゆる「平成の大合併」にあたっては、地方自治の本来の目的を破壊する政策であると、マスコミにおいて「市町村合併反対」の論陣を張り、全国各地の自治体に招かれた。著書に「市町村合併これだけの疑問」(2001年刊,自治体研究社)、「人間の顔をしたまちをどうつくるか」(1998年刊,自治体研究社)など多数。

日時 2016年2月27日(土) 午後2時～4時30分

会場 グリーンプラザ6階 大会議室

資料代 300円

テーマ 「公共施設、そして市民の自主活動はどのような意味をもつのか？」

グリーンプラザ「処分」問題

府中市から2015年8月に府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)が出されました。公共施設再編のために、11施設の43%が30年以上経過し老朽化しているとし、平成30年度(2018年度)に、グリーンプラザを含む3件を処分(取り壊す)する等と主張しています。

グリーンプラザは、多くの府中市民が利用し、自主活動・文化の拠点として35年もの間、市民活動を培ってきました。また数年前には建物の耐震工事も行われましたが、グリーンプラザが本当に取り壊さない危険なのかの説明もなく、取り壊した後は、公共施設を廃止して商業施設にする方針です。

主催：2.27市民集会実行委員会

共催：フロア・セブン協議会運営委員会

連絡先：佐藤真理子 042(368)7170

Eメール：m_sinri31@yahoo.co.jp